

# 世界市場で戦う メイド・イン・ジャーマニー2 ドイツ産業クラスターのケーススタディーと 『第4次産業革命』への取り組み

18世紀後半、蒸気機関の登場により産業に革命が occurred。その後、19世紀後半に電力の活用による第2次産業革命が起き、20世紀後半にはITを組み合わせた第3次産業革命が起きたとされています。そして今、工業大国ドイツにおいて新たな第4次産業革命への取り組みが始まっています。

それが、「インダストリー4.0 (Industrie 4.0)」。



今、ドイツが産学官一体となって取り組んでいるこのプロジェクトは、生産工程のデジタル化・自動化・バーチャル化のレベルを現在よりも大幅に高め、コストの極小化を目指すという、極めて高度な技術戦略です。

モノづくり大国日本にとっても大きなインパクトを持つ第4次産業革命とは一。ドイツが実現を目指す新たなモノづくりの形とは一。ドイツ産業クラスターの強みをケーススタディーで検証しつつ、ドイツが総力をあげて取り組むメガ・プロジェクトの実態に迫ります。

〔日時〕 平成26年 **10月1日 (水)**

**18:30~20:00**

〔会場〕 **相模原市立産業会館 4F 国際商談室**  
(相模原市中央区中央3-12-1)

〔受講料〕 **無料**

〔定員〕 **40名様** (申込先着順)

〔主催〕 **相模原商工会議所工業部会**  
**GETプロジェクト**

〔お問合せ〕 **産業振興課 高井**  
**TEL 042-753-8136**



〔講師〕

三菱UFJリサーチ&コンサルティング  
国際営業部 副部長

ドイツ連邦共和国ザクセン州経済振興公社  
日本代表部 代表

**尾木 蔵人 様**

FAX申込 042-753-7637 または メール t-takai@sagamihara-cci.or.jp まで

事業所名			
参加者氏名1		役職(所属)	
参加者氏名2		役職(所属)	
連絡先電話番号		FAX番号	
Email			